

2026年5月11日

各位

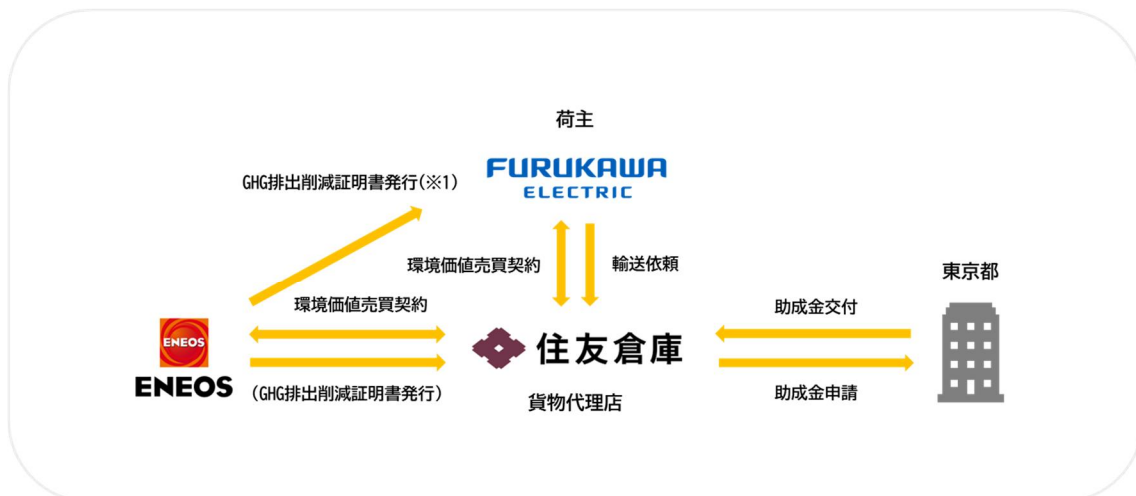
古河電気工業株式会社  
ENEOS 株式会社  
株式会社住友倉庫

**古河電工、ENEOS、住友倉庫、SAF を活用した GHG 排出削減の取組み推進について**

古河電気工業株式会社（本社：東京都千代田区 以下、古河電工）、ENEOS 株式会社（本社：東京都千代田区 以下、ENEOS）、株式会社住友倉庫（本社：大阪市北区 以下、住友倉庫）は、この度、東京都が実施する「企業の Scope3 対応に向けた航空貨物輸送での SAF 活用促進事業」（注 1）（以下、本事業）において連携し、持続可能な航空燃料（SAF：Sustainable Aviation Fuel）（注 2）の環境価値を活用しました。

本事業においては、貨物代理店として採択された住友倉庫と、荷主である古河電工が SAF の環境価値売買契約を締結し、ENEOS が有する SAF の環境価値提供スキームを通じて、航空貨物輸送における GHG（Greenhouse Gas）（注 3）排出を削減します。

具体的には、古河電工が住友倉庫に委託して輸送する航空貨物について、ENEOS が住友倉庫および古河電工の双方に対して、それぞれの SAF 利用相当量の GHG 排出削減証明書を発行しました。その結果、貨物代理店独自の SAF 環境価値管理プログラムを必要とせず、サプライチェーンにおける一気通貫での環境価値の利用が可能となりました。これは、GHG 排出削減を促進する先進的な取組みとなります。



(※1)：古河電工、住友倉庫間の契約に基づき、ENEOSが古河電工に証書を直接発行

古河電工、ENEOS、住友倉庫の3社は、本事業を通じて、航空輸送分野における脱炭素化を推進するとともに、サプライチェーン全体でのGHG排出削減に貢献してまいります。

- (注1) 企業のサプライチェーン全体におけるCO<sub>2</sub>排出量削減への寄与を目的として、荷主が貨物代理店を通じて行う航空貨物輸送におけるSAF利用時に要する経費を東京都が支援する事業。
- (注2) 持続可能な航空燃料：廃食油、サトウキビ等のバイオマスや都市ごみ等を用いて生産される燃料。
- (注3) 温室効果ガス：二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)、メタン(CH<sub>4</sub>)、一酸化二窒素(N<sub>2</sub>O)など、地球温暖化の原因となる温室効果を持つ気体の総称。

<本件に関する問合せ先>

古河電気工業株式会社

広報部 fec.pub@furukawaelectric.com

ENEOS 株式会社

広報部メディアリレーショングループ pr@eneos.com

株式会社住友倉庫

事業推進部広報IR課 ir\_bx@sumitomo-soko.co.jp